

報道発表資料の配付日時 1月12日(金) 13時00分

発表項目 (行事名)	令和6年(2024年)空知管内北海道指導農業士・農業士冬期研修会について	
概要	<p>空知管内の北海道指導農業士・農業士が一堂に会し、研鑽と助言指導活動の一層の促進を図るため、講演及び地域農業の振興に関する意見交換を行い資質の向上を図る「空知管内北海道指導農業士・農業士冬期研修会」を開催します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 日時 令和6年1月30日(火) 13時30分～17時00分</p> <p>2 場所 岩見沢市4条東1丁目 ホテルサンプラザ3階孔雀・金鶏</p> <p>3 主催 北海道指導農業士空知地区連絡会議 北海道農業士空知地区連絡会議、北海道空知総合振興局</p> <p>4 内容 詳細は別紙開催要領のとおり (1) 講演 「近年の気象を踏まえた気候情報の利活用について(気候情報利活用セミナー)」 講師：札幌管区気象台 (2) グループワーク</p> <p>5 参集範囲 空知管内北海道指導農業士・農業士、 市町・農協等関係機関(総数：約80名(見込))</p>	
参考	<p>例年1月に座学を中心とした冬期研修会、6月に現地研修を中心とした夏期研修会を開催しています。</p> <p>今回の冬期研修会は、近年の温暖化など農業に影響を及ぼしている気象をテーマに、講演とグループワークを取り入れた研修を行います。</p> <p>(添付資料)</p> <p>【別紙1】開催要領 【別紙2】気候情報利活用セミナー資料 【別紙3】北海道指導農業士・農業士について</p>	
報道(取材)に当たってのお願い	空知管内の指導農業士・農業士の活動が広く周知されるよう、積極的な取材・報道をお願いします。	
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	(場所)
担当 (連絡先)	空知総合振興局 産業振興部 農務課 農業経営係(担当者：小林) TEL ダイヤルイン 0126-20-0081	

令和6年(2024年)空知管内北海道指導農業士・農業士冬期研修会開催要領

1 目的

北海道指導農業士及び農業士の研鑽と助言指導活動の一層の促進を図るため、空知管内の会員が一堂に会し、今後の担い手育成の方向や地域農業の振興に関する意見交換等を行う。

2 主催

北海道指導農業士空知地区連絡会議、北海道農業士空知地区連絡会議、北海道空知総合振興局

3 日時

令和6年(2024年)1月30日(火) 13:30～17:00

※研修会終了後、空知地区連絡会議総会を予定(17:00～17:30)

4 場所

ホテルサンプラザ 3階「孔雀・金鶏」

(岩見沢市4条東1丁目 TEL 0126-23-7788, ファク 0120-22-8686)

5 内容(スケジュール)

時間	内容
13:30～ 13:45 15分	○開会(司会進行:北海道指導農業士空知地区連絡会議) ○挨拶(北海道指導農業士空知地区連絡会議会長、北海道空知総合振興局産業振興部長) ○報告事項(表彰者、新規認定者紹介)
13:45～ 15:15 90分 (休憩)	○講演 ～「近年の気象を踏まえた気候情報の利活用について(気候情報利活用セミナー)」 講師 札幌管区気象台気象防災部 地域防災推進課 地球温暖化情報官 河原 恭一氏 地域防災推進課 情報利用推進官 常田 陽子氏 予報課 予報官 川島 孝広氏
15:25～ 16:25 60分	○グループワーク(グループに分かれ意見交換) テーマ「近年の温暖化など気候変動の影響について、課題や対策を共有しよう」
16:25～ 16:55 30分	○グループ報告、質疑応答
16:55～ 17:00 5分	○閉会(北海道農業士空知地区連絡会議会長)

[※講演内容等は、都合により変更する場合があります]

6 参集範囲

北海道指導農業士、北海道農業士、市町・農協等関係機関(総数:80名(見込))

～ 農業関係者向け～

気候情報利用セミナー



渡島農業改良普及センター（2023年3月）



根室渡島農業改良普及センター（2022年11月）
（別海町生涯学習センター「みなくる」）



網走農業改良普及センター
（2022年3月）
ワライ開催の様子



目的

地域の気象特性と気候情報の利活用について理解を深める
気候情報のニーズと活用の可能性を把握したい

対象

普及指導員、試験場研究員等、農業・畜産関係者
振興局担当官（革新支援専門員等）、漁業・水産関係者

内容

気象情報・気象の知識、気候変動、気象・気候情報の利活用、
気象庁ホームページを利用したデータの利活用実演解説等

会場

振興局、農業改良普及センター、農業振興センター、文化センター
など（オンライン開催も可能）

※対象や人数、会場、研修での講演等ご要望、ご相談に応じます。

お問い合わせ：

札幌管区気象台 地域防災推進課

TEL 011-611-6149

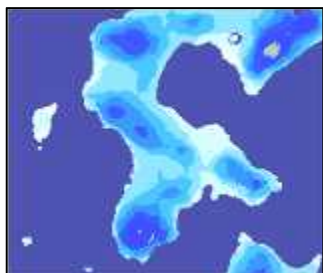
気候情報利用セミナーは通常、以下の実施例のとおり、地域の気象、地球温暖化とその影響、気象データ利用の3部で実施しています。内容はご希望に沿って変更することも可能ですので、ご相談ください。

実施例

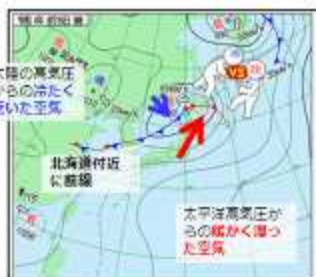
1

地域の気象を知ろう！

皆さんの地域の気象台が、地域の気象や天気予報を解説します



年降水量
(平年値から推定)



北海道で大雨になりやすい気圧配置の例

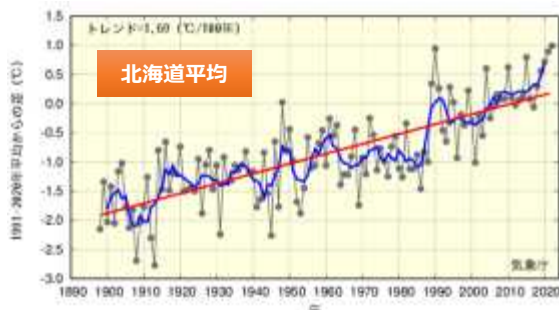


天気予報 (十勝地方の例)

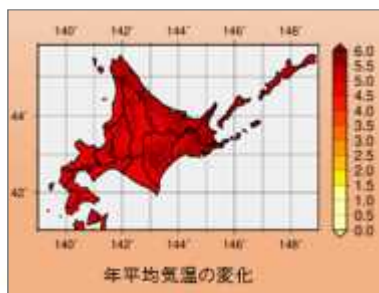
2

地球温暖化の影響は…？

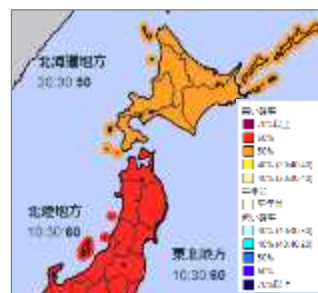
気候変動の現状と見通し、温暖化が北海道にもたらす影響などのほか、農業に役立つ気候情報について説明します



北海道の年平均気温偏差の経年変化



追加的な緩和策を取らない場合の
年平均気温の変化 (21世紀末)



1か月予報 (気温) の例

3

気象データを使ってみよう！

気象庁ホームページで公開している気象データの利用方法、利用例などを紹介します



過去の気象データのダウンロード



2週間気温予想の利用

気象庁マスコットキャラクター
はれるん

農業に役立つ
気象情報を
まとめた
ページです！

気象庁ホームページ
農業気象ポータルサイト

北海道指導農業士・農業士について

1 指導農業士制度の概要

次代の農業の担い手の育成指導や地域農業の振興などに対する助言や協力を行う優れた農業者の活動を助長することを目的に創設。経営実績が優れ、かつ、担い手の育成に強い熱意と指導性があり、地域のリーダーとしても活躍が期待される農業者を市町村長の推薦により知事が認定している（北海道指導農業士の称号を付与）。

(1) 役割について

農業の担い手になろうとする者の研修受入、指導、助言を行うとともに、道、市町村、農協等が行う次の事項について協力することに務める。

- ・新規就農希望者の受入及び新規就農者の定着の促進
- ・女性農業者や青年農業者等の活動支援及び資質向上
- ・地域農業の振興及び農村生活の向上

(2) 認定要件

- ・道内で現に農業に従事しているおおむね40歳以上の者で、個人経営にあつては経営主又はその配偶者等、農業生産法人にあつては当該法人の構成員として農業経営を主体的に担っている者
- ・高度な生産技術力、経営・生活管理能力を有し、農業経営や農家生活の成果がその地域の水準以上である者
- ・次代の農業の担い手育成に強い熱意と指導性を有するとともに、研修生の受入及び適切な指導が可能である者
- ・地域農業の振興や農村生活の向上に対する貢献度及び社会的信頼度が高い者

2 農業士制度の概要

地域農業の担い手として優れた能力を有し、経営改善や地域農業の振興に積極的に参加、協力を行う意欲旺盛な農業者の活動を助長することを目的に創設。地域農業の中核的な担い手として今後より一層活躍が期待される農業者を市町村長の推薦により知事が認定している（北海道農業士の称号を付与）。

(1) 役割について

- ・新規就農者や女性農業者、青年農業者等に対する助言
- ・経営改善や地域農業の振興、農村生活の向上に関する協力

(2) 認定要件

- 道や市町村、JA など関係機関団体等や農業者自らが企画する研修会に積極的に参加するなど資質向上への意欲が高く、道内で現に農業に5年以上従事している原則30歳以上の者で、経営改善に積極的に取り組むとともに、経営改善や青少年活動等、地域活動に率先して参加活動している者（農業生産法人の構成員又は構成員の家族を含む。）

3 認定状況について（R5.2月現在）

- (1) 指導農業士は、昭和46年度から制度化され、令和5年2月現在、全道で、918名（うち空知管内173名）が認定されている。
- (2) 農業士は、昭和49年度から制度化され、令和5年2月現在、全道で、1,490名（うち空知管内259名）が認定されている。

4 空知地区連絡会議について

空知管内における指導農業士、農業士の連携を密にし、相互の研さん、情報交換等を活発にすることにより地域農業の振興に寄与することを目的とし、「北海道指導農業士空知地区連絡会議」が平成10年1月、「北海道農業士空知地区連絡会議」が平成14年7月に設立。合同で冬期・夏期研修会の開催等の活動を行っている。